

問1 アフリカ北部のリビアでは、輸出額全体のうち原油が約8割、液化天然ガスが約5%を占めています。また、国際的な原油価格の推移と、リビアの1人あたりGDP（国内総生産）の推移を比較すると、原油価格が上昇する時期に1人あたりGDPも大きく増加し、原油価格が下落する時期には1人あたりGDPも減少するという相関が見られます。この説明から読み取れるリビアの経済動向として、最も適切なものを1つ選びなさい。

（2026年 宮崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. リビアの1人あたりGDPは、国際的な原油価格の変動から大きな影響を受けて推移している。 | 2. リビアの1人あたりGDPは原油価格にかかわらず毎年一定であり、極めて安定した経済構造となっている。 | 3. リビアは原油の輸出量が世界一であるため、自国の判断で国際的な原油価格を自由に決定している。 | 4. リビアでは原油以外の工業製品が輸出の大部分を占めているため、原油価格の変動による影響は限定的である。 |
|--|--|--|---|

問2 アフリカ州は、世界の二酸化炭素排出量に占める割合が約3.4%と極めて低い統計結果となっています。このような統計上の特色が表れる主な背景として、適切な説明はどれですか。

（2020年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------------|---|---|--|
| 1. 広大な熱帯雨林が二酸化炭素をすべて吸収し、排出量を相殺しているため | 2. 州内の全域で太陽光発電などの再生可能エネルギーへの転換が完了しているため | 3. 環境保護のために、州全体で自動車の使用や工場建設を法律で禁止しているため | 4. 他の州と比較して工業化の進展が遅れており、化石燃料の消費量が少ないため |
|--------------------------------------|---|---|--|

問3 アフリカのナイジェリアなどでは、鉱産資源などの特定製品の輸出に国全体の経済が大きく依存しています。このように、輸出総額の大部分を特定の製品が占める経済や貿易の構造を何と呼びますか。

（2025年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|---------------|--------------|---------|
| 1. 輸入代替産業 | 2. ブランテーション農業 | 3. モノカルチャー経済 | 4. 加工貿易 |
|-----------|---------------|--------------|---------|

問4 かつてアフリカ州の多くの地域は、ヨーロッパ諸国などの本国から移住した人々が統治したり、他国の強力な支配下に置かれたりしていました。このような、他国の支配下にある地域のことを何と呼びますか。

（2024年 岡山県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 保護国 | 2. 独立国 | 3. 植民地 | 4. 自治領 |
|--------|--------|--------|--------|

問5 世界各地で産出される鉱産資源のうち、リチウムやコバルトなどに代表される「レアメタル」の地理的な特徴と、産業における役割について述べた説明として、最も適切なものを選びなさい。

（2025年 栃木県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 石炭や石油と同じ「化石燃料」の一種であり、主に火力発電の燃料として利用されることで、世界のエネルギー供給の主軸を担っている。 | 2. 地球上のあらゆる地域に均等に埋蔵されており、安価で容易に採掘できるため、建築資材として大量に消費されている。 | 3. 鉄やアルミニウムと同じ「主要金属（ベースメタル）」に分類され、主に大型の船舶や橋梁を造るための主原料として利用される。 | 4. 産出地が特定の国や地域に偏っているという特徴があり、スマートフォンや電気自動車などの先端産業を支える重要な資源となっている。 |
|---|---|--|---|

問6 南アフリカ共和国の産業や地理的な特徴について述べた次の記述のうち、誤っているものはどれですか。

（2019年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 金や鉄鉱石、レアメタルなどの鉱産資源が豊富で、これらを利用した工業が発達している。 | 2. かつてアパルトヘイトと呼ばれる人種隔離政策が行われていたが、現在は廃止されている。 | 3. アフリカ大陸の南端に位置しており、古くから航路の要所とされた喜望峯がある。 | 4. ギニア湾沿岸の国々と同じように、カカオやコーヒーのプランテーション農業が経済の柱となっている。 |
|--|--|--|--|

問7 アフリカ大陸の北部などで見られる、山脈や河川といった地形に関わらず、緯線や経線を利用して定規で引いたように真っ直ぐに定められた国境を何と呼びますか。

（2022年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------|---------------|----------|---------------|
| 1. 民族の分布による国境 | 2. 言語圏に基づいた国境 | 3. 自然的国境 | 4. 経緯線を利用した国境 |
|---------------|---------------|----------|---------------|

問8 アフリカ大陸の多くの国々に見られる、緯線や経線を利用して直線的に引かれた国境線について、このような境界が形成された歴史的背景として最も適切なものはどれですか。

（2015年 富山県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 国際連合の主導により、将来的なアフリカ連合の結成を見据えて全土を等間隔の区画に整理したため。 | 2. かつて支配していたヨーロッパ諸国が、現地の民族分布を無視して人工的に境界を定めたため。 | 3. アフリカの諸国が独立する際、国境紛争を防ぐためにあえて無人の砂漠地帯を直線で区切ったため。 | 4. 広大な平原や砂漠が続く地域では、山脈や河川などの自然の障壁为国境にすることが物理的に不可能だったため。 |
|---|--|--|--|

問9 アフリカ大陸において、巨大なサハラ砂漠の南縁に接している、わずかに木や草が生えた半乾燥地域の名称を何といいますか。

（2017年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|---------|---------|
| 1. パンパ | 2. サヘル | 3. ステップ | 4. サバンナ |
|--------|--------|---------|---------|

問10 アフリカ州の社会的な特徴について述べた次の説明のうち、内容が誤っているものを一つ選びなさい。

（2020年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 近年では、先進国などの支援や投資を受け、携帯電話の普及とともにICT（情報通信技術）産業が急速に成長している地域がある。 | 2. かつての植民地支配の影響により、現在でも多くの国境線が緯線や経線を利用した直線的な形状になっている。 | 3. 特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼り、国際価格の変動に経済が左右されやすいモノカルチャー経済の克服が課題となっている。 | 4. サハラ砂漠とその北部の地域においては、イスラム教を信仰する人々が非常に少ないのが特徴である。 |
|---|---|---|---|

問11 アフリカ東部のケニアでは、経済発展に伴い日本向けの輸出品目にも変化が見られます。2004年に約2億5,000万本であった日本向けのバラの輸出量が、2011年には約19億8,000万本に達したという統計がある場合、この期間における日本向けのバラの輸出量の推移について述べた文として、正しいものはどれですか。

（2015年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 生産過剰により、2004年に比べて2011年の輸出量は減少した | 2. 2004年から2011年にかけて、輸出量が約2倍に増加した | 3. 2004年から2011年にかけて、輸出量が約8倍に急増した | 4. 他国との競争により、2011年にかけて輸出量は横ばいで推移した |
|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|

問12 ケニアやエチオピアなどの東アフリカ高地で見られる、特定の農産物を大規模に生産し、主に先進国などへ販売することを目的とした農業の性質を何と呼びますか。

（2022年 三重県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|-----------|-------------|-----------|
| 1. 商品作物の栽培 | 2. オアシス農業 | 3. 自給用作物の栽培 | 4. 地中海式農業 |
|------------|-----------|-------------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 リビアの1人あたりGDPは、国際的な原油価格の変動から大きな影響を受けて推移している。	リビアでは輸出構成割合の8割以上を原油が占めているため、国際的な原油価格の変動が国の収入や1人あたりGDPに直接大きな影響を与えます。原油価格の上昇時には1人あたりGDPが増加し、下落時には減少する動向が読み取れます。
問2	答え 4 他の州と比較して工業化の進展が遅れており、化石燃料の消費量が少ないため	二酸化炭素の排出量は、その地域の産業構造やエネルギー消費量と密接に関係しています。アフリカ州では、依然として特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼るモノカルチャー経済の傾向が強く、製造業などの大規模な工業化が世界的に見て遅れているため、統計上の排出割合が低く抑えられています。
問3	答え 3 モノカルチャー経済	特定の農産物や鉱産資源の生産と輸出に極度に依存する経済構造をモノカルチャー経済と呼びます。国際価格の動向に左右されやすい特徴があります。
問4	答え 3 植民地	本国から離れた土地に移住し、そこを自国の領土として政治的・経済的に支配する地域を植民地と呼びます。アフリカ州では19世紀後半以降、ヨーロッパ諸国によって国境が人為的に引き直され、多くの地域が植民地化されました。1960年の「アフリカの年」をきっかけに多くの国が独立しましたが、現在も言語や産業構造に当時の影響が強く残っています。
問5	答え 4 産出地が特定の国や地域に偏っているという特徴があり、スマートフォンや電気自動車などの先端産業を支える重要な資源となっている。	レアメタルは、その希少性に加えて、産出地が中国やアフリカ諸国、南米などの特定の国に集中しているという地理的偏りがあります。そのため、産出国の輸出規制や情勢不安が、高度な技術を要するハイテク産業に大きな影響を及ぼす「資源リスク」を抱えています。鉄鉱石のような主原料ではなく、製品の性能を向上させるために少量添加されるなど、先端技術の鍵を握る存在です。
問6	答え 4 ギニア湾沿岸の国々と同じように、カカオやコーヒーのプランテーション農業が経済の柱となっている。	南アフリカ共和国は、アフリカ州の中でも特に工業化が進んだ国の一つです。金、ダイヤモンド、鉄鉱石、そして先端技術産業に不可欠なレアメタルなどの豊富な鉱産資源を輸出の柱としています。一方で、カカオの生産が盛んなのはコートジボワールやガーナなどの西アフリカ（ギニア湾沿岸）の国々であり、南アフリカ共和国の主要な産業構造とは異なります。
問7	答え 4 経緯線を利用した国境	エジプトやリビアなどの国々が接する地域では、地形などの自然環境を無視して、緯度や経度という数学的な基準をもとに直線的な境界線が引かれています。これに対して、山脈や河川、湖などを利用して定められた国境は「自然的国境」と呼ばれます。アフリカで見られる直線的な国境の多くは、かつての植民地支配の影響を強く受けています。
問8	答え 2 かつて支配していたヨーロッパ諸国が、現地の民族分布を無視して人工的に境界を定めたため。	19世紀後半から、アフリカはヨーロッパ諸国による激しい植民地獲得競争の舞台となりました。ベルリン会議などを通じて、列強諸国は現地の言語・宗教・民族の居住範囲を考慮せず、地図上で緯線や経線を用いるなどして人為的に自らの勢力圏を決定しました。この際に引かれた境界線が、第二次世界大戦後の独立時にもそのまま国境として引き継がれたため、現在も多くの直線的な国境が残っています。
問9	答え 2 サヘル	アフリカ大陸北部に広がるサハラ砂漠の南側に位置するこの地域は、アラビア語で「縁（ふち）」を意味する言葉に由来しています。砂漠と熱帯雨林の中間に位置する移行地帯ですが、近年は環境の変化が激しくなっています。
問10	答え 4 サハラ砂漠とその北部の地域においては、イスラム教を信仰する人々が非常に少ないのが特徴である。	北アフリカおよびサハラ砂漠周辺は、イスラム教徒が非常に多い地域として知られています。記述にある「イスラム教徒が非常に少ない」という説明は、実際の地理的・文化的特徴とは正反対の内容です。他の選択肢にある、植民地時代の名残である直線的な国境線や、特定の産品に依存するモノカルチャー経済などは、アフリカが抱える歴史的・経済的な実態を正しく説明しています。
問11	答え 3 2004年から2011年にかけて、輸出量が約8倍に急増した	ケニアは赤道直下の高地に位置しており、一年を通じて気温が安定しているため、バラなどの花卉（かき）栽培に適しています。提供された統計数値を比較すると、2011年の輸出量（198万×1千万個）は2004年の輸出量（25万×1千万個）に対して約7.92倍となっており、短期間で「約8倍」という劇的な増加を遂げていることが読み取れます。
問12	答え 1 商品作物の栽培	自分たちが消費することを目的とした「自給用作物」の栽培に対し、茶や切り花、コーヒーのように、市場での販売や輸出を目的として栽培される作物を「商品作物（輸出用作物）」と呼びます。東アフリカの高地農業は、航空便などの輸送インフラと結びつき、世界市場をターゲットにした近代的な経営が行われている点が大きな特徴です。